

行 苑
全日本学生写真連盟
人 行 苑
代表委員長
一 意 部 岡

現実との対応＝創造

という姿勢を

如何に作りあげるか

キャンペーンを

前にして

我々は今、我々の現状を、我々の今まで歩んできた運動の歴史を握っていくなかで、分析、明確化し、展望を切り開く作業に迫られている。

そして、1967年というこの状況を我々の内に握え、さらには1967年に我々の歴史の刻印を刻みこんでゆかねばならない。

1965年

「状況1965」 我々の運動は既成の活動方法、否、運動体自体を自らの手で破壊させ、まったく新しい生命体としての文化運動

体を構築していく作業にとりかかったのだ。我々のおこなうとするあらゆる事が、まったく新しい事であり、我々の前には何らの既成の方法も通じはなかった。我々はすべてを自らの手で創り上げていくはかなかったのだ。そして獲得していく一つ一つの事がすべて運動体の基盤を形成していった。そしてキャンペーン¹状況²1965³が生み出された。「最終決定権は個人に」「カヌランが自分と現実との対決に対しての興味(問題意識)を持たない時、決して作品は誕生しない」という二天原則のもとに作業は展開されていった。きわめて苦しい作業、激しい自己との戦いであった。まさに我々の存在を問題にした初めての時だったのだ。この本を創り出す作業、そして完成した本「状況1965⁴」は我々の運動の原典となったことはいまでもない。

1966年

我々の活動はこの「状況1965⁵」をより展開してゆく作業であつた。そこで我々は一つの局面に出あった。それは我々の写真が

の中に生きているのだ」ということを思いしらされたのである。今までの我々の写真は、「対象」を「対象」として撮ることは出来なかつた。対象には我々自身がうつし出されたのであり、またそこに意味があつた。しかし、我々は自己認識の域を脱し、現象認識の方へ向へと向かうとした時、もはやこの場にとまてゐることに出来ない。対象に自分をつし出すのではなく、「対象」自体が現象の総体を捉える作業をせねばならない。では一体どんな関係にある

ていった。さらには我々が写真を撮るといふことは、現実的に生きるといふことを痛感した。

1965から1966へと我々の活動は「ありかた」の問題へとさらに「生きた」への問題へと進展してきた。1997年の問題はまさにこの「生きた」「その方法」である。

そして

1967年

我々はこの「生きた」の「方法の問題」をいかに進展させるかにかあったのだ。そして春の台宿か

一流会社へ入って、卒業証書を得て、成績をとって、卒業証書を得たつて、一流会社へ入る、四、五年たつて、係長クラスのプロストへおさまり、かわいいおよめさんを持つて、もう四、五年たつたら、赤い屋根のお家を建てて、車を買つて、月給十万円くらいもらつて、日曜日にドライブでもいつて、ボカシアワセデナー！」しかたそれが本当！に幸せであらうか、人間の生き方とはそんなツボケなものであらうか。今の現実において自分を清く正しく生きることはた

一個の人間が

サークルを

包括できるとき

我々は65以来組織的に活動を展開してきた。しかしそれを成立させている個人が本当に組織を必要とくべからざるものと考えているのだろうか。我々をとりまこの一九六七年の状況はそれ自体大きな組織的規制力をもつて我々に迫ってくる。またそれを動かしている人間は、その組織のある方向にむかつていかに発動してゆくかに彼の全生活を賭ける。ところがその現実の総体に対して組織を組もうとしている者が真にその意味を知り、その生活の全てを賭けてやっているのか。否その思想・行動は全くこの現実の総体のある断片のなかにあつてのみ自らの生活を賭けている。しかしそのように自分あるものを当初の目的とは全く異なるものに当てる。だが我々のまわりにある組織と呼ばれるものの大半はそうであるがそれ为本当にこの現実を変へ得る力となるのであろうか。我々の組織もまたしかり。この組織を組んでいゝ人間の一人一人が自分は何のために写真を撮り、何のために組織を組んでいるか。この自分の生活を自ら限定する根本的作業をいつも自分の中に握り続けて来たのだろうか。それは自分があるべき人間には常にあるべきものに対する新たな方法論のみが問題となるはずで

が、このようにして組織を組も
した人間がある時この自分の
を放棄せざるを得なくなる。
である一人の人間の話をしよ
彼は彼のサークルを主体的に
ことを志向した人間であつ
ところがある時、彼は彼の志
たはずのサークルの中であが
あがくは、この一九六七年の
は彼にとつて例えようのない
巨大化してくるような気がし
分一人であつたことを悟つ
悟つた時から彼は自分一人で
ことを守つた。守つた
はするほど巨大化した状況
まことになる。そして彼は、彼
をこのような状態に追い込んだ理
実を直視することも忘れる。今ま
で彼がサークルでやつてきたことと
が、彼の行動を限定していたと考
えはじめ、当初サークル活動に見
い出していたはずの意味そのもの
を限定と考へるようになるのであ
る。そこで彼は、意味ある限定、
それは、可能性を無限にもつ限定
を意味のない非限定が最高のもの
だと信じてしまふ。そこで彼は、
自由をもつ得たと信じてるのである
が、実は、全く自由なのではないの
だ、彼は非限定の自由と呼ぶもの
は、現実の支配下におかれた人間
がより陥り、現代に充満してい

では、このような状態におちい
つてしまった彼が、本来の自由を
志向する人間となり得るには、ど
のような方法があるのか、それは
今ある。自分を対象化していくこ
とである意識的に持続的に対目的
に捉へることである。自己の状態
をサークルの活動のなかに包含さ
せたところで維持すること、サー
クルという限定の、単位のなかで
思考することによって、即ちサー
クルを思考することによって、対
象化することができ自己を確立
しなくてはならない。この方法で
しか、サークルを、自己を、志向
することは不可能である。

では我々が一九六七年の現実を

ける事により更にその力を増す。今という時は一人だけでいかに頑張つてみたところでその力はあるに限られた有効性しかも得ず、このように今の時代に存在する人間は次々と挫折してゆく事は、火をみるよりあきらかである。我々の生活はいつもこのような危険性と密着したところにある。それ故に我々が「これだけは確かな」といひ得る事を組織的に組み上げ一つ一つの問題をのり込め、勝ちとる事が今の現実に対する最も有効な力となり得る。我々全日本学生写真連盟の二つ二つの行爲も、常にこのような立場にその身を置いてのめ意味がある。

この具体的な事象から現実の根元を捉えなければならぬ。それには、ただアトランダムな方法で写真を撮つて行くことがはたして有効であつたか。我々はより有効な方法を導き出すべきではない。

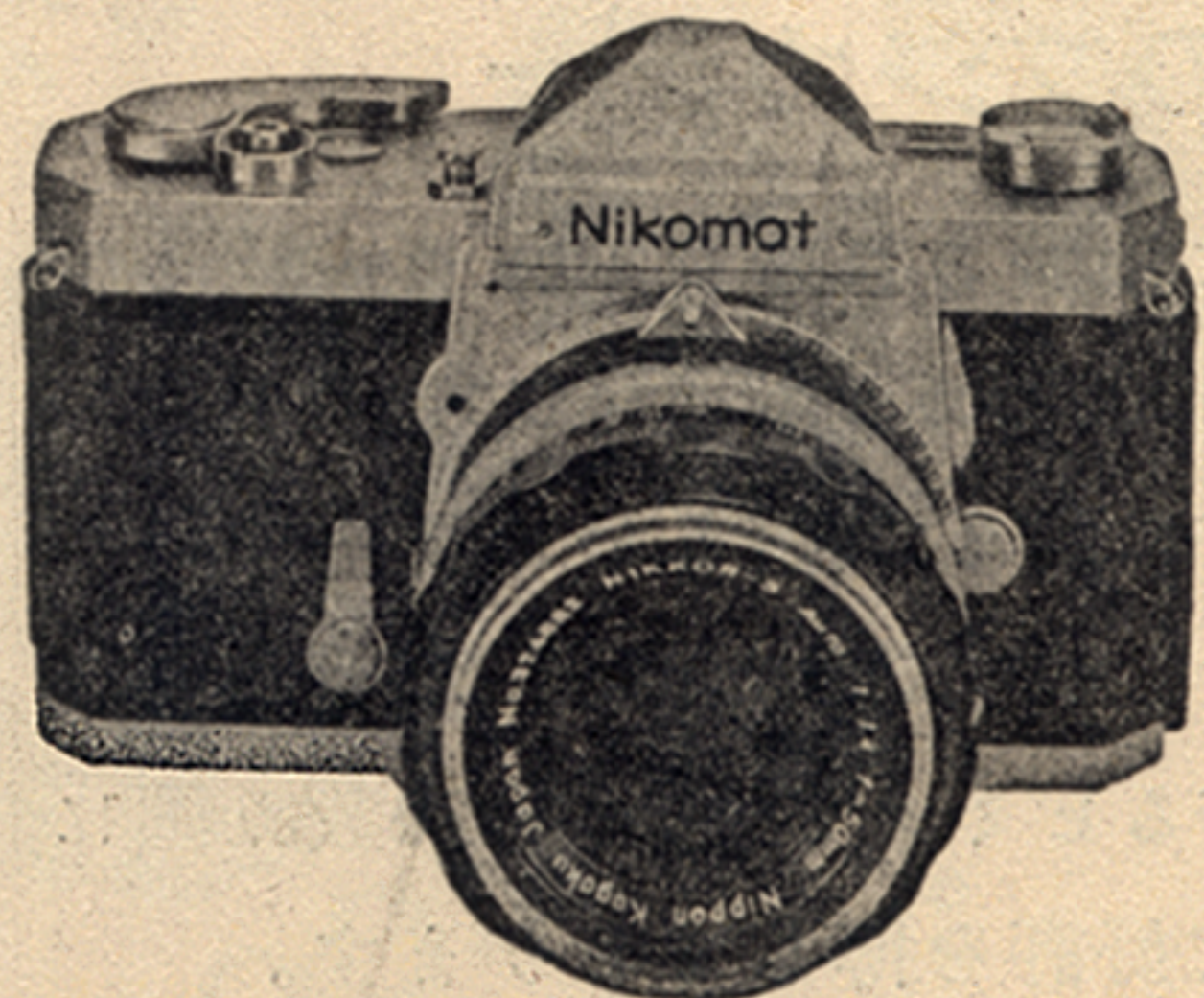
我々の據る「対象」を規制していいくこと（つまり、我々が何か一つくこと）つまり、我々が何か一つく対象を選び、あらゆる角度からその対象を捉えていくことにすぎり、現実の根元を認識しようとする（こと）により、さらには自らの写真をも規制していくなかで、現実と我々との接触をよりシャープにしていくことが出来るであらう。写真とは自ら創造していくこと

（二面）（続く）

Nikon

カメラはニコン ⑥⑥メガネもニコン

無限の可能性を秘めるニコン!



Nikommat

FT型 50ミリ F 2付き ¥45,000
50ミリ F1.4付き ¥53,300
55ミリ F1.2付き ¥65,600
皮ケース ¥2,200

Nikon 日本光学工業株式会社

カメラはニコン 眼鏡もニコン

円(現像料別)他各種

フィルム

35mm 12枚撮 490F

富士

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor creases and discoloration, characteristic of old paper. A dark, textured strip, possibly a binding or cover material, is visible along the right edge. The overall tone is warm and vintage.

This is a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf from an old book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and faint smudges. A decorative black border runs along the left and bottom edges, featuring a row of small white dots. The top edge of the page is slightly irregular, suggesting it might be part of a bound volume.

に向つて

円(現像料別)他各種

フィルム

35mm 12枚撮 490F

富士

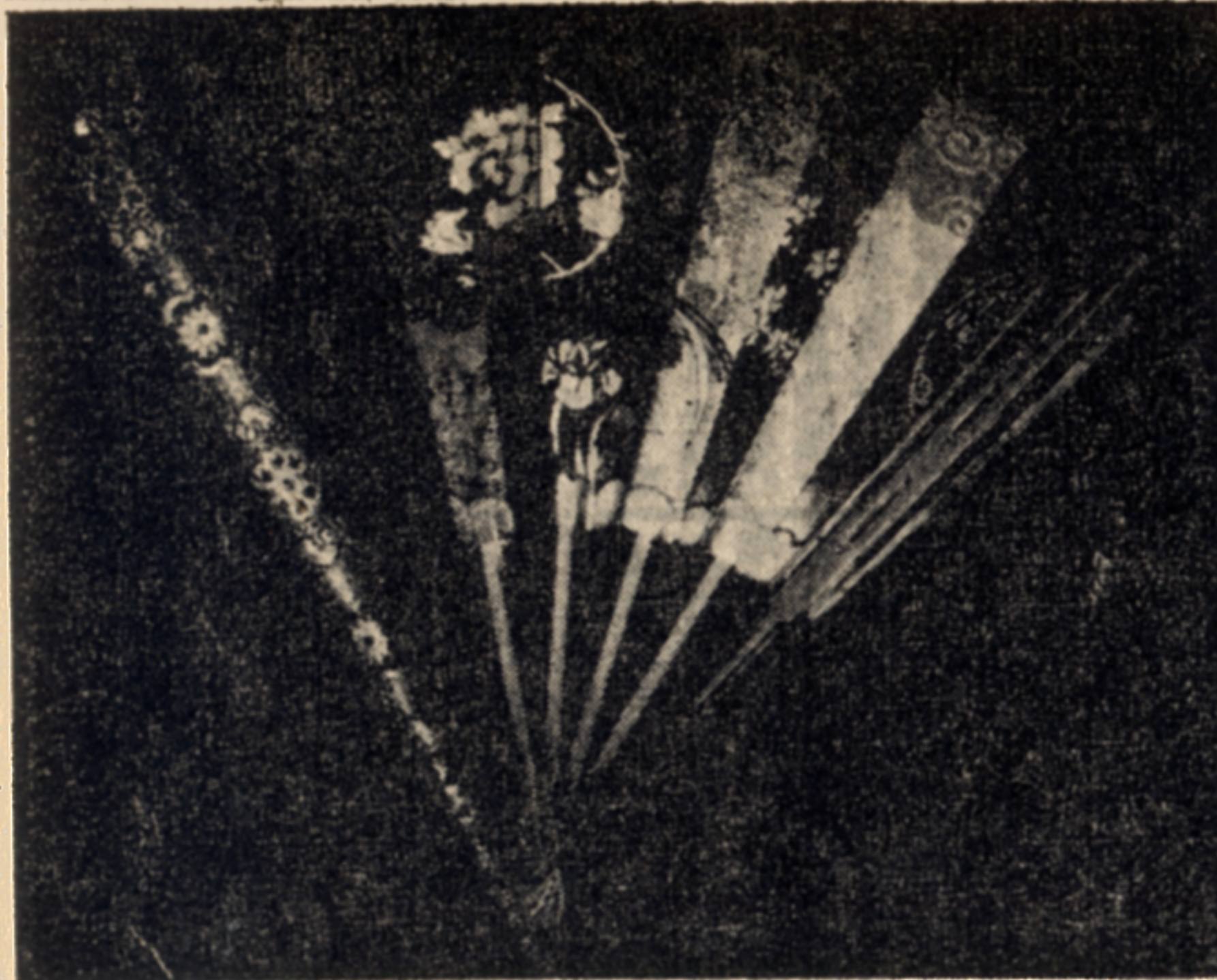
This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor creases and discoloration, characteristic of old paper. A dark, textured strip, possibly a binding or cover material, is visible along the right edge. The overall tone is warm and vintage.

This is a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf from an old book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and faint smudges. A decorative black border runs along the left and bottom edges, featuring a row of small white dots. The top edge of the page is slightly irregular, suggesting it might be part of a bound volume.

A black and white portrait of a young woman with dark, wavy hair. She is looking slightly to the left with a gentle smile. She is holding a bouquet of small, light-colored flowers near her chin. The background is a textured, mottled grey.

富士フイルム

状況との関連において 方法の問題を如何に うちたてるか



シャープな軽量大口径コムラー 100mm F1.8 に
コムラーテレマユニズーム2倍〜3倍をセット
した200mm〜300mmプリセットズームです!
マスターレンズ100mm F1.8の余裕ある高性能を
充分に活用できる 解像力の高い〈行動派〉です
100mm単体でももちろん使えます
F1.8の明るさをフルにいかしてのポートレートや
スナップに常用レンズとして駆使してください
ユニズームはあらゆるコムラーに使えます
ユニダブターシステム採用のコムラーならばどれ
にでもつけて使えます 200mmにつければ400mm
〜600mmの300mmにつければ600mm〜900mmの超
望遠プリセットズームが誕生します

専門メーカーの交換レンズ

コムラー

三協光機株式会社
東京都台東区東上野3-12-11
全漁業ビル 電話 833-9031

●誌名品名記載でカタログご請求ください

コムラーユニズーム18=200mm〜300mmズーム
〈行動派〉のズームセット



UNI-ZOOM 18

ペンタ・SRマウント用 ¥22,800
ニコンF・キャノンF用 ¥23,800
フード・皮ケース・カルキュレーター付

く待たなければ。待つことによつて現代が共有している。現実との関係における苦悩だけが俺のものだ」と、彼は、あたかもこの時代の苦悩をまるで一人で背負っているように言う。しかしここで考えなければならぬことは、これは彼がこの現実を対象化し得た一の方法であり、その結果、出でたものだということである。しかし、われわれは、このような対象化の方法を否定しなければならぬ。なぜなら、彼が俺の時ではないといひ懺悔といひ、更に待たなければならぬと言つた時、彼は

そこでこの時代を肯定していることとの何ものでもないからだ。自らの行為を起さないことの理由の他のなものでもない。そして苦悩というきわめて曖昧な状態に最大の価値をおこうとする。

われわれのまわりに思いを巡らせる時、似た様な言葉に出くわす、この時代を指し示して、ある人は儼意^{げんい}といい、ある人は市井^{しきやう}だといい、またある人はニヒリズムだという。そしてまたみんながそうだ、そうだといいあい、寄りかかるとい合いながら本当は、しばらくでるはない永久に待つという行為を重

ねていつてしまふ。そしてわれわれは、この現実の中へ身をおかないことによつて、かゝうしてこの現実と均衡を保とうとする人間達を否定しなければならぬ。われわれがこの時代を生き抜こうとする時、事実としての、現実を分析することによつてしか得られぬ、串つりという状態を指し示しながらではなからうにして、それは決して、自らをその串つり状態におとし入れることなく、あくまでも指し示しながら、対することによつて、自らの生き方は、あくまでもこの現実と身をおき、そのなかで

具体的な行為を創りあげていかなければならない。この行為をつくりあげるといふことは今のわれわれにとつては最も急がれていることであり、最も困難なことである。それは、今日までのわれわれの写真のあり方、サークルのあり方がそのまま物語る。「共同製作」一つとつてみても、方法以前の問題であらう。写真における最も基本的なことである「自分の問題」は存在しない。写真というおもちゃにサークル全体でやれている。そういう状態だった。そして65年から始った「自分の問題」は、格

に對しても、余りにも、すでに知
つてゐる方法であらゆるものに對
処してゐた。ところが現実は、遂
に一變化し、とてもわれわれのす
にもつてゐるもの、知つてゐるも
の等であつて、それに対処できるはずがな
い、それはまるでカラーコンピ
ューターに人間の目で、肉眼で對
しようというものだ。カラーコン
ピューターは、人間の眼が八百の
色別しか出来ないのに対して億と
いう単位の色別が可能なのだ。あ
らゆることの根源を探り、それら
一一一に對する問いかけの先に
「それはちひいこうことなのか」

の問題がすべて包括する。即ち、現実をどのような視点で捉え、対象化するかという方法の問題がすべてを包括する。関東例会においては、この問題は、終始方法の問題でもあったが、そのなから、具体的に問題をあげてみるその一は、この方法の問題に取り組んでいる人によってあきらかにされたものであるが、彼は、『家』の問題を究明しようという東松昭明が、『家』を撮ったのは、一九六〇年とゆう時であり、その時が包含着していた『家』の問題を歴史的な視点からより捉えたものである。東松昭明

古典文庫
 ■歴史の闇に出現し、新展
自
 チェツリニ／
 ルネサンス期イタリ
 ャリニの波瀾の生
 心と狂時の風俗を伝
唯一者とその
 シュティルナー／
 自我の窮極に創造的
 天才性物論を追究す

● 田澤龍彦

水毛

ナルシ
實を捉
む。深

● レーニン

緊

官許マ
世界で
ロシア

● バタイユ

● 黒田正利 記

アの名彫刻家チ
運。芸術への執
える。6000円

● 伝 (上)

● 岡啓治 記

無を規定し、染
色

● 開する書物群

● 伝 (上)

● 田澤龍彦

水毛

ナルシ
實を捉
む。深

著 1200円

エロニクス

シズムと死の相剝下に入間の本
え、人類の泰園喪失の苦悩を輝
奥なる最新評論集。A5判変型

／公文俊平 訳 1000円

長期経済論 評註

ルキストに抹殺され全集未収、
未刊行の重要資料を完全翻刻、
革命五十周年記念・四六判変型

／森本和夫 訳 1200円

[illegible]

なない方しかなかった。そのなかには人間達、どのような人間達、あったかといへば、サークルとゆいう単位そのものを考えることが出さなう、またできたとしても、自分が持っているものだけで、キヤリアでやってしまふ、そしてある時は、ナントナクやる気が出てきき、全くわけのわからないうちに出来きたやる気であり、またすぐにわけのわからないうちにやる気がなくなってしまう。そしていふのはサークルという単位でのことを考

何かが見えはじめる、見えはじめるもの、ものを確実にわれわれのものにしてゆくという作業が構築されない限り、無限の考察を重ねるといへる。作業が構築されない限り、これらのわれわれの活動は、われわれからわれわれの活動は、われわれとひとひとは、結局何もなれぬ、得ないでしまふのだ。これらのことを構築することこそが方法の問題を問題としてわれわれの前に直に与えることができる。

題とすえた。即ち、それまづは、写真とは、カメラが持つメカニツクの性質を単純にそのまゝ生かしたものと、記録ということに意味がそのまゝおかに残っていた時に写真の歴史を決定的に變へ得たといふことと、當時の一九六〇年の状況に於て、その決定的に捉へることができ、故に「家」の問題を今日の主題とにしたということであつた。当然、一九六七年が持つ「家」の問題は、七年前とは、全く意味が異つて現れてきている。その時、東松照

ミシユレ／篠田浩一 魔
デフォール／泉谷 庄
ヴァレリー／栗津則
テストエ
グラッペ／小栗
ドン・ジュアンと
夜鷲／ボナウエントウ
革命論集／フラン
パステュー回想／ラン
太陽の都／カンパネッ

刊・好評発売中
 郵記 500円
 女 (上)
 治訳 600円
 疫病流行記
 雄訳 500円
 氏・未完の物語
 治訳 500円
 ファウスト
 以下続刊
 ーラ・平井正訳
 キ・加藤晴康訳
 ケ・安斉和雄訳
 ラ・坂本鉄男訳

のドキュメントを駆使して人性弁証法Vを探り、病極のエロスを確立。新装普及版 四六判変型

話作用 R・バルト 篠沢秀夫訳

身近に生きたる神話の秘密を挟る
自身の鋭利な文明批評。四六判

と革命 (仮題) 正岡正明著

契機を内的モメントにより革命とさせる組織論2章。四六判変型

42番 現代思潮社

された一人になつてしまふ。このよまな循環が毎日のようにくり返されていく。人間一人一人の行動が全く何の裏付けもないところで展開されていつてしまふといふことは、この時代の、現実のままだに漂流しているということである。大学を卒業して間もない新卒社員が自衛隊に入られ、訓練をうけるということが、最近多いが、このような人間はみな、そういう社会に適応できるように訓練を受けるのであろう。具体的、人間の意識等をすべて根性といふから、めてあいまのないものにすりかへ、コントロールされるまま、コントロールのたまに發揮される、王者の強さが評価されるのである。われわれにとって意識的であるものだけが確実なものとしてある。今のわれわれにとって最も欠けている点はこのことであらう。自分という一人の人間を意識的に意識の中で操作してゆくことができる、い即ち対象化できないということである。故に自らの生き方に対する方向も持ち得なく漂流するし、手たてがないのだ。われわれは、今まで、写真にしても、サークル

[illegible]

「家」は、そのまゝ全く一九六〇年の状況には有効性は、持ち得ない今の日本における家を考えるとき、家だけを個別的にみていつても、現実の総体は、見切つてはいけな。

「家」という問題を一つとしてても、現代においてあらゆる事とそれとの次元とが層をつくり合ひその現代における本当の意味をい出すのは可成の困難がある。特に幾重にも重なりあつた層を抜いていく力がわれわれにならない時それは全く絶望的にある側面にあられた一現象しかみることができなく、すべてはそれで終つてまつ。層と層との間にある屈折を見極められることができる時、それはどのような時であらうか、れわれが現実のそれ以上の屈折を持つということにほかならないのである。今までの多くのドキュメンタリーと称される写真は、くその絶望的なことのあらわれている。ある一つの側面をなでてやり過ぎ、あたかもそれによつて代りのすべての意味が包括できた

(次頁へつづ)

キャンペーン
“状況 1966”

9月1日発行！

予約定価 320円

“状況1965”

伏見 1905

残部少々

定価 280円

○上記の本を入手希望されるかたは左記の住所
または各地区連盟本部へ申し込んで下さい。



セコニック
スタジオデラックス
L-280

全日特価 1,920円

上記の本の申し込みおよび詳細
の問い合わせは右の住所へご連絡下さい

全日特価 1,000円

東京都新宿区三栄町

全日本学生写真連盟

発売元 株式会社 コパル

対峙をめぐつて

「雨月物語」を
めぐって

映画をつくる、すなわち表面化する
 ことによって、どの様に乗り越
 えるだろう。C ラストで、死んだ宮木の声が
 せないんだ。もっと、人間みたい
 なものを感じるんだな。あの状況

ふうにも簡単なものだと、あの映画では、Blow up している際、計算されて打ち出されている主人公になった様子を、泣

とらえるために――

日本讀書新聞は世界史の底流をさぐり、世界思想の可能性をひきよめ、1960年後半に棲む読者に報道する

●戦後青春の死

岸大佐の死、奥登の自殺。「半日本人」李珍子の刑死、バー・メック殺人事件、死刑内正田出は宮城刑務所で……、政治の中の死罪に於ける。戦後遺棄との相克、敗北。この連載は、文字通り、「戦後青春」の体現者であったこれに無名の青年たちの思惟と行動を追跡する。そしてこの若者たちの青春の實質を対象化しうる悪態にまで確率する。ヤッカー！セネレシヨンの体質を暴き、それを超えんことを思想者、行動者に提出。

評賞

創刊30周年記念論議文藝集。テーマは自由思想・芸術に關する評論(写真・映像・演劇)も可。選者・井光晴、高橋和巳、鶴見俊輔の三氏。賞金一五万円(入選一名、佳作には記念品贈呈。枚数四百部註原稿用紙四十枚以内。締切り42年8月末日。発表42年10月。『創刊30周年記念号』紙にて。

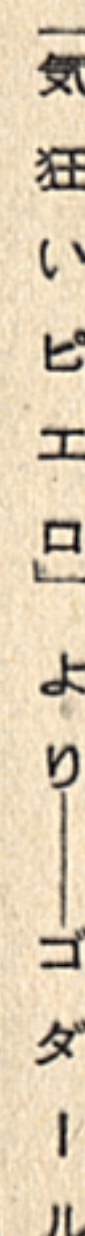
大学生協・書店・駅売店に有 一部30円の週刊クオリティ・ペーパー

日本讀書新聞

「舎金録」で見たとハカキいたなげは見本紙として最近号お送りします。

彼の思想を表わす用具というか、手段でしかなかったと思う。所が「ゴタールの『ピエロ』なんかの場合だと、主人公は実際の状況の中でそれに対して動いている。生きている人間という感じがするんだな。

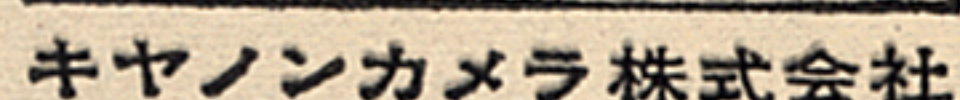
「あなただけは、今しあわせてすか」



言は、あの映画の一番始めに、エルティナンの声で、ベラスケスに關して言っている所があったらう。「五十歳になったベラスケスは、もはや決定された事物をくことをしなかつた。彼は大氣をながれにつつまれた対象のわりを彷彿した……」つていうんだ。つまり、あの映画をストリーミたいな所だとか、あるいは「一つの『決定された事物』のみな所では絶対に見られなかつたんだ。やはり、『大氣と、なぞをれにつつまれた対象』というものが、一つの『決定された事物』では捉え切れないものだからなぞうと思つた。まづ『大氣となぞ』とつつまれた『よゝな』が、まづ所のない現象だから、ダールは、シネマ・ヴェルテ・コロージュとかいう方法を使つたんだらうと思つた。だからならあの映画は状況とダールの間を表現と言へると思つた。

C 今の状況つていうのは、やゝ復り事柄で構成されているとは思うけど、事物を即目的に對象化しても、それは明確にはならなかつたその事柄と自分との關係のものを明確にするみたいなことが事象だつと思つた。

1959 「勝手にしやがれ」
1960 「小さい兵隊」
1961 「女は女である」
1962 「女と男のいる舗道」
1963 「軽 蔑」
1964 「恋人のいる時間」
1965 「気狂いピエロ」
1966 「男性・女性」



何でもなし。夏休みという期間
もうすでに私を規定できる力を
なった。

敬
句